

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ソリューションパワープラス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.512	△RG	0.040	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：エクセプション 5.0**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工

箱出し状態

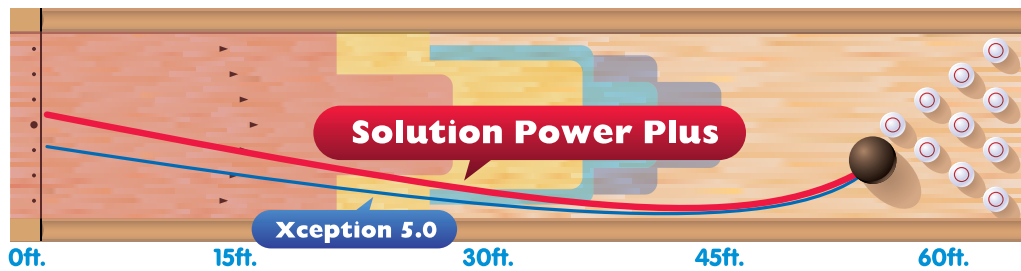
加工

ペーパー

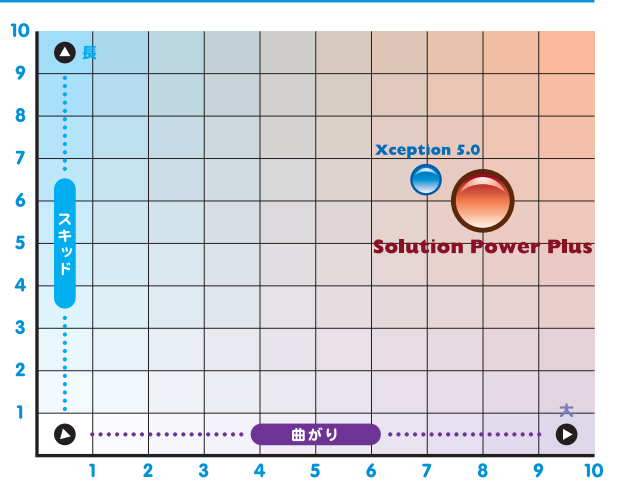
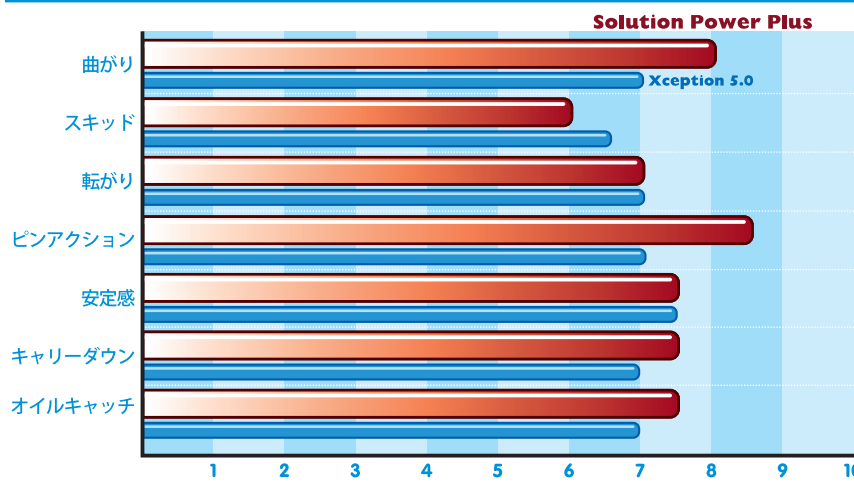
ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

ブルー/パープルと白のマーブル色で初期のフェノム・アンリーシュドと同配色。表面加工は FINE 仕上げで手前のオイルの多いコンディションでの使用がマッチすると思われる。曲がり幅は大きく、手前からの強いキャッチ力を感じるため、ストロング・アークの曲がり。しかしフレッシュなコンディションやボウラーのタイプによってはマイルドなシャープのイメージの強いバックエンド・リアクションを感じる方もいるでしょう。

オイルに負けず最後まで曲がりが終わらないリアクションに加え、このボールの最大の特徴の柔らかいピンアクションは特に薄めに圧倒的な強さを感じます。

これは私見ではありますが、コア形状・カバーストックは違えど、配色も手伝って爆発的人気のあった初期のフェノム・アンリーシュドを思い起こさせるパフォーマンスを感じます。

総体的なオイル上での安定感、薄めの絡むようなピンアクションはあの当時の性能を彷彿させる出来栄えに感じます。箱出しの状態の手前のスキッド感が得られないタイプのボウラーにはポリッシュすることにより、多少キャリーダウンに左右されることはありますが、フリップ感の強いリアクションを得ることが出来るでしょう。また手前のオイルを感じすぎるボウラーにはサディングすることにより、さらに手前からの強いトラクションを得ることが出来ます。

### 特記事項

オイル上での安定感があり、それに加えピンアクションが柔らかく薄めのアクションは絶品。トータルバランスを考えても高いレベルにあるボールと言えるでしょう。